

市立住吉市民病院と府立急性期・総合医療センターの小児・周産期医療機能の統合イメージ

大阪市立住吉市民病院



大阪府立急性期・総合医療センター



小児・周産期医療機能の統合

大阪府市共同 住吉母子医療センター（仮称）



■整備規模

建築面積 約 2,500 m²
延床面積 約 12,500 m²
階層規模 5階建・既存の棟との動線確保

■整備費用

約 89.4 億円
(内訳)
・新棟本体整備費 約 50 億円
・機器整備 約 20 億円
・設計費 約 2.7 億円
・附帯工事 約 16.7 億円

※統合後の建物外観はイメージであり、確定したものではない